

平成21年1月16日
阪神電気鉄道株式会社

阪神なんば線(平成21年3月20日(祝))の開通にあわせて 駅係員、乗務員の制服をリニューアルします

～接客の原点である「誠実」と「おもてなしの心」をコンセプトとして、環境にも配慮した制服に～

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市福島区、代表取締役社長:坂井信也)は、平成21年3月20日(祝)から、駅係員および乗務員の制服をリニューアルします。

今回のリニューアルは、開業百余年を経て、同日の阪神なんば線(西九条～大阪難波間)開通にあわせて実施するもので、制服デザインは、接客の原点である「誠実」と「おもてなしの心」をコンセプトとして、これを濃紺を基調としたオーソドックスなデザインで表現しました。また、制服のネクタイやコートなどの素材に、廃ペットボトルなどをリサイクルした再生ポリエステルを採用し、処分時の固形燃料へのリサイクルおよびカーボンオフセットの実現など、環境にも配慮しています。このリニューアルを機に、お客様に今まで以上に「安心」「快適」にご利用いただけるよう、従業員ひとりひとりが新たな気持ちを持って、サービスの更なる向上に努めてまいります。なお、制服のリニューアルは、平成6年に現行の制服を導入して以来、15年振りとなります。

また、今回の制服リニューアルに合わせて、作業の安全性の向上を目的に、技術員の作業服についてもリニューアルします。

詳細は、下記の通りです。



【新制服の概要】

1 導入日 平成21年3月20日(祝・金)から
阪神なんば線開通にあわせて導入

2 コンセプト

「誠実」「おもてなしの心」



開業百余年を経て、阪神なんば線の開通を迎えるにあたり、接客の原点である「誠実」と「おもてなしの心」を、濃紺を基調としたオーソドックスなデザインで表現しました。また、当社沿線のイメージを、新たに導入する3種類のネクタイで表現します。

「青」：港町神戸の青に、電車の車輪とレールをイメージ

「黄・黒」：阪神タイガースをイメージ

「赤」：キタとミナミの賑わいの赤に、新線を白のラインでイメージ

3 新制服、新作業服の特徴

制服の裏地、ネクタイ、コート及び作業服に、廃ペットボトルなどをリサイクルした再生ポリエステルを採用

固形燃料へのリサイクル、カーボンオフセットの実現など、環境に優しい処分方法を採用

夏場の作業の快適性向上

(制服：クールビズ対応、作業服：メッシュ素材の使用、夏ズボンの新設)

機能性の向上を目的として、軽量で伸縮性がある素材を採用

安全性の向上を目的として、作業服に静電気防止の素材や反射素材を採用

以上